

レンタサイクルによる放置自転車対策について計画案への提案

平成 17 年 9 月 9 日
協議会委員 小林 俊史

1. 現状分析と問題解決の視点

- (1) 駐輪ニーズに対して施設が不足という現状だが、施設整備すれば駐輪ニーズがさらに喚起されよう
- (2) 限られた財政支出・用地条件の中で、駐輪ニーズにできるだけ応えることが区民のため
- (3) 公費投入をできるだけ減らせるよう、民間協働での資金調達・創意工夫によるサービス提供が望ましい

2. 駅直近への駐輪を低コスト化する工夫

- (1) 都心駅直近の駐輪スペースを通勤通学者による保管により長時間占有すると、どうしても高コストになる。
- (2) 長時間保管される自転車が他の箇所へ持出されれば、駐輪スペースが効率利用され低コスト化できる
- (3) レンタサイクルシステムの導入により、都心駅に乗りつける通勤通学者の自転車を、駅から付近へ通う通勤通学者に昼間持出してもらう
- (4) 特に池袋は居住地域かつビジネス街なので、その仕組みを実現しやすい
- (5) 8 時前後に居住者が自転車に着駅、9 時前後に通勤通学者が自転車で発駅、夕方はその逆というイメージ

3. 駐輪場とレンタサイクルのモデル予想としての効率比較

- (1) 駐輪スペース 100 台分、自転車 250 台で、朝入れ夜出し会員 200 名、朝出し夜入れ会員 150 名
- (2) 駐輪スペース 1 台分当り、駐輪場では 1 名に対しレンタサイクルでは 3.5 名
- (3) レンタサイクル利用者が見込めれば、駐輪場と比べ、駐輪スペースを 3.5 倍利用でき効率的

4. レンタサイクルを駐輪場整備に加えて放置自転車対策事業として展開できるようにする条件

- (1) 「レンタサイクルは駅直近への長時間駐輪の権利を持つのと同等」との考えを広める
- (2) 駐輪場に対して価格競争力を持てるよう、相応の公費投入（駐輪場に対するより効果的）をする
- (3) 駐輪場整備および運営への公費投入実績を明らかにすることで、財政効果を示す
- (4) 公有地の提供や初期投資への助成により、民間事業者による利便性の高いサービスを実現する。
（駅直近・受渡し時間短い・欠車とならない・故障車ない等）とする
- (5) ニーズ調査をするための社会実験を行なう

5. 『総合計画』の修正提案

第 3 章 1. に「・限られた財政支出・用地条件の中で、駐車需要にできるだけ応えること」を追加

2. ①最終行に「、特にレンタサイクルシステム普及の可能性を検証」を追加

【1】に「レンタサイクルは駅直近への長時間駐車の権利を持つのと同等との考えを広める。」を追加

【3】に「レンタサイクル拠点を増やし、より多くの駐車需要に応えることを検討する。」を追加

第 5 章 1. (2)③を以下に変更

レンタサイクルシステムは、駅近傍居住者が朝預けた自転車を、郊外から区内駅に来る通勤通学者が持出す（夕方以降はその逆）ことにより、駅直近の駐輪スペースを効率利用できる。その普及により、駐輪スペースの数倍の人数が自転車を便利に利用できるようになる可能性がある。社会実験によりその有効性を検証し、実施を目指していく。